



プロジェクト名称

木沢の「わ」プロジェクト

プロジェクト活動概要



地方のような都市から離れた地域（特に中山間地域）では、人口減少に伴ってさまざまな問題を抱えている。本プロジェクトの活動地・徳島県那賀町木沢地域もそのひとつで、古くから伝わる拝宮和紙などの伝統工芸や人形浄瑠璃・農村舞台などの文化、さらには木沢村に住む人々の暮らしの知恵がいま無くなるとうとしている。そこで、昨年度は使われていない古民家を再生し、訪問者に木沢村を知ってもらうための資料館、訪問者と住民

が交流できるワークショップスペース等の機能を兼ね備えた拠点を作成させた。さらにこの拠点づくりのプロセスの中でまちのさまざまな住民を巻き込むことで、孤立していた住民同士をつなぐコミュニティの場を創出するとともに、私たち学生との交流によって住民たちの地域活性化に向けた意識を向上させた。

今年度は私たちの目的である木沢村の活性化を実現するために、昨年度完成した拠点の活用を開始する。昨年度とは異なり、徳島周辺の大学の学生を誘致するためのイベントを企画・運営し、新たな交流人口を増やすとともに他学生団体との共同イベント開催を目指す。また、木沢村の年間スケジュールに合わせたイベントを開催することで、住民や周辺の学生などを主体とした地域活性化の取り組みを促すためのモデルケースを創出する。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 地元のスケジュールに基づいたイベント企画によるモデルイベントの創出と住民主体による新たな取り組みの創出
- ② 中山間地域におけるコミュニティ拠点の活用とその中で得られる利用者のニーズ調査やイベント企画
- ③ 木沢村で地域活性化に取り組む新たな学生主体を 2 団体以上誘致する

8月に行われたイベントは地元の祭りに合わせて行うことで、地元住民からの注目や参加を頂いた。また、イベントの中で住民や参加学生からヒアリングを行うことで、外部の人は木沢地域にどのような魅力を感じるのか、また木沢地域でどのようなことがしたいかなど、今後の木沢地域内の学生による活動のイメージを創出することができた。新たな学生主体は8月イベントだけで1団体と個別に参加する学生として4つの大学の方に参加していただいた。また、11月のイベントについてすでに新たな学生団体と連絡を取り合っており、2団体の参加が期待できる。



活動状況報告 & 活動写真

活動期間：2016 年 6 月 21 日 ～ 9 月 30 日

基本的な活動としては、昨年から引き続き週に 1 度プロジェクトメンバーで打ち合わせを行い、イベントの企画や木沢地域の方々、また誘致の対象となる徳島県周辺で活動している学生団体との連絡を取りつつ、イベントの準備を進めた。

8 月にはイベント第一回目として、木沢地域の「黒瀧寺」で行われる「黒瀧寺祭り」に合わせて、ゲストハウスで「流しそうめん」イベントを行った。

訪問期間は 8/16～19 の 4 日間で、16 日はイベント事前準備と竹灯籠づくり、17 日は「流しそうめん」イベント、18 日は「黒瀧寺祭り」に誘致した学生たちとともに参加し、竹灯籠の設置や黒瀧寺踊りを踊った。

黒瀧寺祭りへの参加を含め、このイベントには徳島大学・四国大学・中央大学・日本女子大学・亜細亜大学の学生合計 12 名に参加していただき、特に黒瀧寺祭りの参加について、地元の新聞に写真付きで掲載していただいた。



○イベントの様子





今後の活動計画、目標、意気込み

8月のイベントは我々にとって初めてのイベントだったため、多くの反省点・改善点が見つかった。

ゲストハウスの活用だけでなく、木沢地域の住民の方々との連携や周辺施設の利用、木沢の魅力の伝え方など、木沢の住民の方々、また参加学生から多くのアドバイスを頂いた。

今後は週1回の打ち合わせの中で、8月イベントで頂いたアドバイスを見直し、11月のイベントの企画・準備を進めていきたい。

11月には坂州八幡神社秋季例大祭に合わせて、祭りへの参加と木沢地域の秋の味覚である「柚子」に注目した「食」にまつわるイベントの実施を計画しており、内容としては木沢地域の住民による料理教室などを企画している。